



現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が世界各地に広がり、深刻な影響を及ぼしています。人類はその都度、経験したことのない災厄に立ち向かい、克服してきた歴史があります。だからこそ、今の状況から逃げるのではなく、前を向いて立ち向かってほしいと思います。過去の歴史で実際に立ち向かった偉人たちを紹介します。

18世紀から19世紀にかけ、世界に重くのしかかる難問があった。梅毒の跳梁である。決定的な解決策を見出せず、密かに人類の滅亡さえ予感された。曙光が射したのは20世紀に入ってだった。1910年、梅毒の化学療法剤サルバルサンが発明されたのだ。発明者はコッホ研究所の研究者パウル・エールリッヒである。このサルバルサンは別名606号と呼ばれる。ヒ素化合物の試作品を次々と作って、606番目に初めて得られた目的を達する薬だったからである。つまり、エールリッヒは605回失敗を繰り返し、その数だけ失望と苦悩を味わったのである。研究にとって最も大事なものは何かと問われ、エールリッヒはこう答えた。「忍耐」。時代の古今、洋の東西、分野の差異を問わず、新しい歴史を切り開いた人たちがいる。それらの人たちに共通する条件を1つだけ挙げれば、こう言えるのではないか。困難から逃げなかった人たち、困難を潜り抜けてきた人たちだと。新しい時代に適った夢と志を実現する。「歴史創新」とはこのことである。そして、夢と志を実現しようとする者に、天は課題として困難を与え、試すのではないか。松下幸之助氏の言葉が聞こえる。「百遍倒れたら百遍立ち上がれ。万策尽きたと言うな。策は必ずある」困難から決して逃げない。私たちの歴史もそこから開けてくるのだと肝に銘じたいものである。

心に響く小さな5つの物語Ⅱ 第四話「歴史創新」より

大学入学共通テストまで5ヶ月を切りました。みなさんには大きな試練を乗り越えて、希望通りの成果を得てほしいと思います。そのためには、明日できることでも今日行い、後悔のない日を積み重ね、自信を持って試験に望めるよう準備して行きましょう。

月	日	曜	行事予定（3年に関するもののみ）	朝	夕	備考
8	29	土				
	30	日	数学検定			
	31	月	特編授業・牛肉豚肉弁当の日	×	×	8：15校門通過
9	1	火	E X祭体育の部予行	×	×	8：15校門通過
	2	水	特編授業	×	×	8：15校門通過
	3	木	E x 祭りハーサル・準備	×	×	8：15校門通過
	4	金	E x 祭文化の部1日目（南郷ハートフルセンター）	×	×	8：30～客席へ
	5	土	E x 祭文化の部2日目	×	×	8：15校門通過
	6	日	E x 祭体育の部	×	×	8：00教室着席
	7	月	代休日（予備日）			
	8	火	代休日			
	9	水	普通授業⑦E x 祭明け集会・遅刻防止強化週間	○	×	7：25校門通過
	10	木	普通授業	○	○	7：25校門通過
	11	金	普通授業・ベネッセ駿台マーク模試	○	×	7：25校門通過